

開講科目名 Course	租税法研究演習 1 年（村上先生） / Seminar on Tax Law
時間割コード Course Code	18020
開講所属 Course Offered by	法学研究科修士課程 /
開始年度・学期 Start Year・Semester	2022年度 / Academic Year 前期
曜限 Day, Period	土 / Sat 2
開講区分 semester offered	通年 / .
単位数 Credits	4.0
学年 Year	1
主担当教員 Main Instructor	村上 正城
科目区分 Course Group	研究演習科目
教室 Classroom	4 3 演習室
講義形式 Lecture Style	演習科目
担当教員名 Instructor (担当教員所属名 Affiliation)	村上 正城（法学研究科修士課程）
授業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・租税法に関する基本的知識の理解 ・ゼミでの発表を通じた文章作成および論理的に自身の見解を表現できる能力の向上 ・修士論文のテーマの決定
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・指示された課題に関する資料の読み込みおよびレポートの作成 ・毎週の水曜日までに進捗の報告 ・ゼミでの課題、判例研究に関する発表および協議 <p>課題および判例研究の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> 発表の 1 週間前に資料をアップ 自主ゼミの実施 自主ゼミでの内容を反映した資料の再アップ ゼミでの発表 ゼミをでの内容を反映した資料の修正、精緻化
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの完成度合いと発表内容 ・ゼミへの参加態度および課題への取り組み状況
教員の指導に従わない以外の事由による失格基準	・特になし
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4 月：合同オリエンテーション、申し合わせ ・ 5 月：論文および書籍の要約、判例研究のテーマ選定 ・ 第一回中間発表会（オブザーバー参加） ・ 6 月～ 7 月：判例研究の発表および協議 ・ 夏休み：各自判例発表のレポートをもとに小論文を作成 ・ 9 月～10 月：判例研究もしくは小論文の発表および協議 ・ 第二回中間発表会（オブザーバー参加） ・ 11 月～12 月 <ul style="list-style-type: none"> ：判例研究もしくは小論文の発表および協議、論文テーマの決定 読み込み作成の開始（週 3 本のアップ） ・ 1 月：論文テーマに関する協議および検討
テキスト	・ゼミにて指示
参考書	・ゼミの課題に応じたもの（入学時に指示された必携図書）
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等	含まない
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等の内容	

実務経験のある担当教員による授業	該当する
担当教員の実務経験を活かした授業の内容	・実務経験を交えた法令解釈や考え方、表現方法等について講義し、協議を行う
質問への対応方法	・適宜、対応
フィードバックの方法	・適宜、対応
予習・復習等、準備学習の内容及び時間	・基礎力向上のためには、毎日2時間程度の学習が必須 ・判例研究の資料の作成（発表者）の場合にはさらなる時間を要する ・毎日2時間以上の学習時間を習慣化すること
使用言語	日本語
SDGs 17の目標（1～10）	
SDGs 17の目標（11～17）	
PROGリテラシーの要素	
PROGコンピテンシーの要素	